

祈りの絆

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。http://www.bapren.jp/

お祈りください

1. 各チームのクリスマス集会を覚えて
2. 仮設の方々の寒さ対策に知恵が与えられるように
3. 福島の子どもの健康が守られるように
4. 冬の車移動、事故がないように

*女性連合 あいあいプロジェクト紹介

大槌町小銃第4仮設団地（遠野ボランティアセンター）や、宮前仮設支援（仙台北バプテスト教会）、緑が丘ア丁目仮設住宅支援（郡山コスモス通りキリスト教会）、牡鹿支援（宮城チーム）で手芸サークル（自主活動）が盛んになってきています。そこで、女性連合のあいあいプロジェクトを通して、毛糸やパッチワーク用の布等を集めていただき、各仮設団地に献品させていただきますました。その材料を使ってできた作品を第58回連盟定期総会の時に、現地支援委員会のブースで販売させていただきました。すべて完売!!ご購入いただきありがとうございます。売上は作品を提供してくださった各仮設団地の小物サークルにお渡しいたします。このような形で、仮設団地の皆さまと連携できる関係を各チームが築くことができたことを本当に感謝いたします。

また、あいあいプロジェクトを通して、今まで、冬用の洋服や、お米、クッキー、生活用品などたくさんのお品をいただきました。リクエストを出す、またたく間に全国から物資が集まってきました。女性連合の皆さまの熱い思いと祈り、そしてその行動力に本当に頭が下がります。また、郡山コスモス通りキリスト教会が支援活動をしている緑が丘仮設団地の支援の際にはあいあいプロジェクトの方々が前日から泊まり込みで何度もお手伝いに来てくださっています。沖縄のサンゴで作った箸置きを持ってきてくださったたり、タイ派遣宣教師日の高龍子先生はタイ式マッサージのご奉仕をしてくださり仮設の方が大変喜んでおられました。今月は、蛭川潤子会長と犬塚美佐子（ふじみ）さん、佐々木恵さん（ルワンダ）がルワンダのお土産を配布してくださいました。本当に心強い助っ人です。

*談話室新築・増築感謝開所式

大槌町小銃第7仮設団地談話室新築開所式及び大槌町小銃第4仮設団地談話室増築感謝式が11月17日に行われました。テキサスバプテ



総会にて手芸品の販売

ト連盟よりクリスマス・リープラム氏、日本バプテスト連盟より加藤誠常務理事が参加。神奈川連合より11人、第7仮設談話室新築責任者の古川力氏（仙台）をはじめ仙台北教会より5人、第4仮設談話室増築責任者の石井努氏（高崎）など力強い助っ人が備品設置、春に咲く球根をプランターに植える作業、外用のテーブル&ベンチ作りをするために来てくれました。



第4仮設談話室（増築）

開所式には盛岡教会より大須賀真人・綾子牧師はじめ5人の方々の手伝いに駆けつけてくださり大助かり。加藤常務理事が開所式の中で「日本バプテスト連盟」について爽やかに説明してくださり私たちの立場が公になりました。また、総勢25人でアメーzingグレイスを賛美することで、主の導きを心より感謝いたします。開所式にきてくださった方々と一緒に歌った「ふるさと」は一生、忘れることができません。涙、涙の開所式でした。大槌町役場の方々もきてくださり、また、西南学院大学や東京女子大より学長名で祝電をいただくというサプライズもありました。全国の諸教会・伝道所の皆さまのお祈りの結集による業と主の先立ちを垣間見たひと時、そして改めて積み重ねてきた日々の中に主の守りと導きがあったこと、そして全国から来てくださった250人を超えるボランティアの皆様が繋いでくださったバトンの恵みを確認してただただ感謝です。



第7仮設談話室（新築）

東日本大震災被災地支援委員会 原発課題班コラム 原子力発電所と放射能について 知っておきたいこと⑥ 放射線量計測について

ただ今、要望のある教会・伝道所に対する放射線計測を行っています。海外のバプテスト諸団体からの指定寄付もあり、比較的性能の良い放射線計測器（2種）を入手することができました。これらの機械を用いて、地上10cm・50cm・100cmの空間線量および壁等物の表面10cmの空間線量を計測しています。実作業30分程度です。また、会堂や牧師館で使用している水道水の放射線量も連盟事務局に設置している機械で計測しています（後日、計測結果報告）。

東日本委員会が定める基準値以上の放射線が検出された場合（年間1ミリシーベルトを目安としています）、簡易の「除染」方法をお勧めし、申請があれば内規の範囲内の助成を募金の中から行おうと考えています。この放射線計測活動の趣旨は、①無用の追加被ばくをできる限り避けること、②そのための判断材料を教会・伝道所に提供することにあります。どうぞ東日本委員会事務局までお申し出・お尋ねください。原発課題班（濱野道雄）

東日本大震災と原発事故が問いかける 宣教・神学フォーラムI 報告書



「教会は何を聞き、何を語ってきたのか」
被災地支援募金込1000円
宣教研究所まで

（現地支援担当 金子千嘉世）

杯です。特記事項として今回、開所式の準備をする中で、大槌町第14仮設団地（12世帯）の出会いが与えられました。ここは、世帯数が少なく土地が狭いため談話室を建てることはできません。住民の方々は外で手芸サークルをしてもらいます。そこで早速手作りのベンチとテーブルを献品させていただきます。とても喜んでくださってまた感謝。このように談話室がない仮設団地が大槌町だけでもあと21箇所もあるとのこと。孤立、孤独死。自死を防ぐために談話室は不可欠です。今後の祈りの課題です。



東日本大震災被災地支援募金にご協力ください

すべての支援活動は、募金によって支えられています。

◇2012年度目標額	2000万円	◇4~9月支援募金額	10,016,579円
		(内訳)国内分	7,346,433円
		(内訳)国外分	2,670,146円

上記の他に指定(主に海外から)募金12,764,626円があり、指定された用途に用いられます。

お祈りとご協力に心から感謝申し上げます。

送金先:郵便振替00140-9-180881宗教法人日本バプテスト連盟総務部

※「大震災被災地支援募金」と明記してください。※募金は極力、教会単位でご送金ください。

海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。

